

首都直下地震の被害想定

品川区における主な被害想定

地震が発生したとき、どのくらいの被害が出るのでしょうか。

地震に備えるためには、どのくらいの被害が出るのか具体的なイメージを持つことが大切です。

品川区で最も大きいとされる場合の首都直下地震の被害想定を紹介します。

- 被害想定は、マグニチュード7.3・震源地東京湾北部・18時発生・風速8m。「首都直下地震等による東京の被害想定(平成24年4月東京都発表)」に基づきます。
- 地震に関する品川区の地域危険度は、「防災関連資料」49ページを参照してください。



平成23年東日本大震災の住宅被害の様子
写真出典：財団法人消防科学総合センター〈災害写真データベース〉より

建物の被害

●建物全壊 25,376棟

原因	棟数
①火災	20,095棟
②ゆれ・液状化	5,281棟



人的被害

●死者 779人

原因	人数
①火災	520人
②ゆれ・液状化	252人
③その他	6人

●負傷者 8,016人
(うち重傷者 1,376人)

原因	人数
①ゆれ等建物被害	5,642人
②火災	2,337人
③ブロック塀等	28人
④急傾斜地崩壊	6人
⑤屋外落下物	3人



ライフライン被害

●上水道(断水率)	46.2%
●下水道(管きよ被害率)	28.7%
●ガス(供給停止率)	16.1%
●電力(停電率)	47.4%
●通信(不通率)	35.0%



その他被害

●滞留者 ^{※1}	480,501人
●帰宅困難者 ^{※1}	179,084人
●避難者	184,510人
●避難所生活者 ^{※2}	119,932人
●エレベーター閉じ込め台数	370台



※1 滞留者、帰宅困難者については東京都市圏外からの流入者は含まない。
 ※2 避難所生活者については避難者の65%とする。
 ※3 各数値については小数点以下の四捨五入により、合計値は合わないことがある。